

◎ 社会部門（小）

1 行事及び内容

(1) 研究主題「持続可能な社会の創り手を育てる社会科学習」

(2) 研究内容

①「持続可能な社会の創り手」を育てるための有効な教材の開発

(地域素材を取り入れた単元デザインの工夫、単元で身に付けさせる知識・技能と社会的な見方・考え方を明確にした単元構造図の作成)

②「持続可能な社会の創り手」を育てる学習モデルの検証

(「自分のこと」として焦点化していく学習問題、広がりや深まりを促す学び合い)

③「持続可能な社会の創り手」への成長を客観的に評価する方法の確立

(考えの変容を捉えられる振り返りの活用)

(3) 研究経過

①6月 2日(金) 第1回研究委員会(小中合同)

研究の方向性、研究組織、年間事業計画

②7月31日(月) 小学校社会科部門研修会

講話「楽しく学び合う社会科の授業づくり」

講師 苓北町教育委員会学校教育指導員

高木 政光 先生

③2月20日(火) 第2回研究委員会(小中合同)

研究経過報告 本年度の反省 来年度の志向

※熊本県小学校教育研究会社会科部会関係

8月 3日(木) 県小社研夏季研修会 八代市立八代小学校

学年別提案分科会5年 実践発表

2月 8日(木) 熊本県小学校教育研究会社会科部会研究発表会八代大会

提案分科会5年 実践発表 八代市立八代小学校

2 本年度の成果と課題

本年度は、昨年度の全国小学校社会科研究大会を受け研究を進めてきた。天草支部は昨年度河浦小学校で実施した授業研究会での5年生の公開授業をもとに2月の県大会で発表した。

また7月の研修会においては「楽しく学び合う社会科の授業づくり」という演題で、苓北町教育委員会学校教育指導員高木先生に地域素材の教材化や教科書等の資料活用の方法、子ども主体の授業デザイン等を中心に話していただいた。参加者からは、「資料の使い方など不易なものだけでなく、これからの授業の在り方まで示していただき、納得感の高い研修で今後の実践意欲が湧いた」「単元をデザインする際に多角的に考えたり、説明したり、議論したりする活動をどこに仕込むかが大切なことがわかった」「小学校の先生方とグループ討議ができてよかった。こういう機会が多くあるとよいと思う」「グループ内に中学校の先生を入れてもらったので、系統や違う視点からの意見を聞くことができ、深い学びができた」等の感想があり、好評であった。

来年度は、県の理論を受けて天草支部の研究をさらに深めるとともに、楽しく学び合う社会科の授業づくり(資料の効果的な活用、子ども主体の単元デザイン)という視点での研修も引き続き行っていきたい。